

雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会
会議録（橋場小学校開催分）

平成 2 5 年 1 1 月 1 9 日

雫石町教育委員会

平成25年11月19日雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会を開催した。

場 所 橋場小学校1階ホール

時 間 19時00分～20時55分

1. 出席者

一般住民 20人

2. 事務局から説明のために出席した職員

雫石町教育委員会教育委員長	上 野 宏
雫石町教育委員会教育委員	岩 持 斗季子
雫石町教育委員会教育長	吉 川 健 次
雫石町教育委員会学校教育課長	高 橋 啓 二
雫石町教育委員会学校教育課主査	田 辺 茂

3. 書 記

雫石町教育委員会学校教育課主任 坂 井 一 博

4. 開会宣言

田辺主査 雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会を始めさせていただきます。初めに教育委員長から。

委員長 夜分お忙しい中、お集まりいただき大変ありがとうございます。少子化の波が押し寄せ、雫石町でも急激な児童数の減少が進行。平成 24 年度、町内の小学校児童は 852 名。わずか 6 年後の平成 30 年は、700 人を切って 698 人に。町内 10 小学校では、複式学級を抱える学校が 10 校のうち 6 校。学校運営も大変難しくなっている。複式学級もご存知の通り、2 学年の子供達と一緒に学習となる。少人数で目が行き届き、仲良く学習活動を進めることができるなど良い点があるが、逆に沢山の子供達の中で競い合い、刺激し合って学ぶ点では大変マイナス。21 世紀の今、子供達の能力として特に重要視されるものは、多くの意見を聞き、それを練り鍛えて自分の考えを作り、集団の中で表現していく能力。これからの学校では学習集団として磨き合い、鍛え合うことができる児童数の規模が必要と考えた。

そこで町内の小学校を見つめ直し、適正な規模にしようと平成 24 年度小学校適正配置検討委員会を設置し、2 月に提言書の提出を受けた。それを踏まえて教育委員会で 6 回会議を開き、結果、本日の基本計画。私共は、子供達の教育環境を第一に考える。どうか質問や前向きなご意見等でより良いものにしたい。

田辺主査 〔説明会参加の事務局の紹介〕

学教課長 〔以下、適正配置基本計画を資料に沿って朗読し、内容の説明〕

田辺主査 5. 質疑、ご質問ご意見を伺いたい。発言は挙手でよろしくお願いします。

参加者 事の発端を伺う。人数が少なくなるから統合するのは分かるが、ここは増える見込みがあるのに統合の話になった理由がわからない。複式は昔からだ。

学教課長 目的は、全町的な複式学級の解消の部分。今までこの話題に触れてこなかった部分がある。学校がなくなると地域が衰退すると言われてきたので、誰も手をかけなかった。ただ、子供の減少がかなり進行しており、将来の子供達のためにはもう少し多い集団での学習で成長させたいといったことから、今回こういう形で出した。

参加者 私達が、最初に知ったのは新聞記事。いきなり聞いた感じ。だから、もう少し何というか本音で話をしてもらえればいいなど。

学教課長 こちらでは財政面は全く考慮せず、統合後財政的にいくら減るとかは一切積算していない。ですから、地域もそうだが、子供達にとって良い教育環境を第一に考えて検討委員会の中で協議していただいた。

参加者 複式学級のメリット、デメリットがあるが、メリットは省いてデメリットを解消する考えで複式学級を解消する話なのか。

学教課長 はい。複式学級は、2 クラスで 16 人以下であれば 1 学級。県内でも複式学級を

有する学校はどんどん減少し、統合が進行している。教員の複式経験者も減少している。素晴らしい先生も当然いますが、複式学級のある学校だけ回るわけではないので、未経験の先生も複式学級を指導する。その場合、最初の半年ぐらいは複式学級の定義について先生方は勉強する。それと並行して児童への指導は、非常に難しい。要するに2つのクラスを教える。例えば、3年生の指導中、4年生は自習時間。人数がいる学級であれば話し合いながらの授業が可能。1人2人だと考えも1つ2つ。もう少し集団だと色々な人の意見を聞き、自分で整理し、その中から考えを導き出す力をつけさせたい。それが、教育委員会として複式解消するねらいです。

参加者 基本計画策定にあたり、検討委員会前に地域住民に案の話はできなかったか。

学教課長 平成22年10月にアンケートを実施。どういう考えを持っているか、関係する保護者に調査した。それ以外に本来は住民からアンケートを1度でも取るなり、または、検討する旨、お知らせすれば良かったかと。大変申し訳ない。ただ、子供にとっての部分、教育委員会の考えをまず示し、叩き台にして進めていければと考えた。いきなり統合より、ある程度の叩き台に沿って意見交換をしていければと。

委員長 最初は、平成19年に雫石町住民全体にアンケートを実施し、22年度は、保護者に実施した。その後、子供達の教育活動でのアンケートを実施。本当は、それらを踏まえてすぐ検討委員会を立ち上げて情報を知らせれば良かったが、3月11日の震災で手一杯になって遅れたのが正直なところ。それで昨年度に検討委員会で学校の様子を見学の上、検討委員会の結論を出し、それを踏まえて今回の基本計画に。橋場小は、昔から複式学級。素晴らしい教育成果も出ている。それでも全町を考えた時に複式学級があちこちから出てくると、町としての教育活動が難しくなる。私自身も橋場小出身で複式学級を経験している。先輩と一緒に勉強で自分の勉強もしながら他学年の話も聞けて良い面もある。逆に困る面は、先生といつでも一緒に勉強できない。やはり作業時間が発生する。ここで単式と差が出てくる。あと大きな違いは、色々な人の意見を聞いて意見を言い合うことができなかった。色々な人のより多くの意見を聞いて視野を広げるために、ある程度の人数がいる学級がいいという考えを持った。そこから検討委員会を踏まえて、適正配置についての案を作った。

参加者 はっきり聞く。やるやらないどっちか。反対意見が多ければやらないか、多くてもやるかそこを知りたい。さも決定のように新聞に載り、これはなんだと思った人がいっぱいいる。結局、ここで色々質問したり反対意見を出したりしても、結果やるとなると全然意味がない。反対意見が多ければやらないこともあり得るか聞きたい。

委員長 子供達の学習環境を考えると、今の状態はベストとは言えない。私達とすれば

今の子供達の教育環境をいいものにしたいので統合をやりたい。ただ、これには多くの方々の色々な意見が出るので、良い形の適正化に持っていけるよう、受け入れられるものは受け入れ、そういう課題の上で説明会を開いている。

参加者 そのようなことだけではないと思うが。決定はどこで何を基準に誰が決めるのか。私の基準は、住民の半分以上が反対であれば統合しない。いくら反対しても町で統合するとの判断が出れば覆らないか。

学教課長 最終的には町が統合と判断すればそうなもの。ただ、今回はあくまで教育委員会の考え方。

参加者 それは、期限に依らないということか。それとも超えるのも無理ということか。

学教課長 こちらとしては、出来るだけコミュニケーションをとりたい。何回でも説明し、出された意見を聞きまとめる。長引けば長引く程、子供達は今のまま。長引くにしても協議し、なるべく早くいい環境を作ってあげたい。だが、説明が必要な部分があれば延びてもやむを得ない考える。

参加者 そのコミュニケーション自体が公平か、子供達に対しての理解が公平になっているかの判断は、どこに軸を置くか。子供中心で考えないと、スクールカウンセラーの配置による子供の心のケアと書いているが、カウンセラーにも色々な人がいて子供に合わない場合もあるだろうし、子供達が学校に適応とか順応というのは子供達自身が決めること。そこはすごく難しい。今、交流会もやってくださり、楽しんでいる子もいると。カウンセラーを置くとか具体的なものがないので大丈夫なのか親として不安。今、色々スポ少活動で外に出して友達を作るようにさせるなど、親として出来ることをさせている。これに対する子供の判断、こうしたいという子にカウンセラーを置くとすると、子供に対してどうかと改めて思った。

学教課長 これは、あくまでそういった子が出る可能性もあると考え、そういう場合の対応として記載した。子供達は、統合したことで集団生活を送るので、個人によって性格も違うが、集団の中での活動ができる子供にとって教育活動の幅は広がってくると思う。精神的な部分は個々によって違う。こちらでできることで対応していくと考える。

参加者 検討委員会の名簿を見た時に、アドバイザーは何を基準に選んだのか。盛岡で有名な方がいる。もし、来年度以降話し合う機会があればこの先生を呼んでいただきたい。ただし、ご高齢であるので。

学教課長 アドバイザーの先生は、指導主事として雫石町に勤務経験あり。文部科学省にも出向され、戻って来て岩大の准教授に。雫石や町内の小学校をある程度把握されている方なので来ていただいた。その方は存じない。あとで教えていただければ。

教育長 平成28年4月からいきなり一緒ではなく、統合できるとなれば来年度から出来る限りの集団活動を行いたい。橋場小を例にすると御明神小とのそれぞれの学年

の遠足や陸上や水泳、社会科見学や地域散策とかで子供達の交流をするよう考えている。集まってすぐ一緒の学校ではなく、一緒になっても良いのであればそのような手立てを組んでいきたいと考えているのでご理解いただきたい。

参加者 統合となった場合、橋場小は閉校か。御明神小も1度閉校するのか。

学教課長 そこは、準備委員会で校名、校章、校歌の件も出てくると思うので、準備委員会で検討していただく形になるかと。最初から吸収という考えはない。

参加者 ここだと学校の名前は御明神小学校以外ないかと思って。

教育長 確かに名前はそうかもしれない。名前がそうなっても御明神小に橋場小の子供達が入るのではなく、統合準備委員会でどういう方向になるか。それから、橋場小の跡地についても皆さんからご意見をいただき、町の意見、教育委員会の意見、何が一番相応しいか検討する。地域住民の公民館的な役割として色々な団体が使うことも可能かと思う。或いは、地域のスポーツ活動の中心や、子供達を集めて今まで同様、伝統芸能の練習をするとか使われ方は色々あると思う。それについても皆様のご意見をいただき、皆様の合意の中で進めていければと思っている。

参加者 御明神小と統合ともあるが、雫石小に通わせることは出来るのか。

教育長 出来ません。学区があるので簡単に飛び越えられない。特別な事情のみ許可している。統合反対の理由、なぜ反対なのかの理由が強くてその通りだとなれば、元に戻すことも考えられる。ただ、複式学級を解消したい。町全体として複式学級のない学校を作りたいと考えているのでお願いします。

参加者 1学級14人ぐらいの学校があつて急に27人ぐらいに大きくなった時に、1学級で先生が教える時に配慮すべき点は何か。27人ぐらいの学級だと例えば、ADHDの児童ならば先生が目が届かなくなると、複式学級が良かったとなりうる可能性はある。実際の現場の先生の意見も取り入れ、評価をきちんと行い、統廃合も考えるといい、という意見がある。例えば、27人でADHDの子供を抱える学級では補助の先生を迎えて考えるということだった。その先生を入れるとか、計画の中に子供達への配慮という細かい部分も入れるよう検討していただきたい。

学教課長 ADHDの子供が通常学級に通っているところもあり、全て調査をして学校支援員を配置し、サポートでついている。人数が増えれば、学校支援員も増やす対策も講じられる。

参加者 例えば、ADHDの子が学校で騒いだりするようになった場合、サポートする先生がどういった人数に対しどれくらい配置してもらえるのか。具体的なところが分かるようにしてほしい。例えば、1人いれば学級に1人来るのか、学校に1人来るのか。

学教課長 人数によって異なる。2人配置しているところもある。

参加者 それは、何人のADHDの子供に対して2人か。

学教課長 ADHDだけでなく、特別支援が必要な子供もおり、今多くて1小学校に2人配置。

参加者 支援を必要とする子供何人に対して支援員が何人か。1人だけでも配置になるか。

学教課長 1人でもいれば当然配置対象。就学指導委員会の判定を踏まえ、こちらで検討していく。あと全体の枠があるので、その中で子供達の程度を見ながら配置する。

参加者 程度にもよるが20人に1人いた場合、サポートが入る時間もあるということか。

学教課長 そう。

参加者 先生の力量や技量だが、学級崩壊にならないようしっかりチェックしてほしい。

学教課長 ADHDの子供の人数に合わせて配置しなければという意見は聞こえてくるが、そのとおりの対応は難しい部分がある。

参加者 でも、先生方からの意見の中で、例えば、クラス運営するのがちょっと難しい場合は、サポートの人が入るとか基本的なそういったものはないか。

学教課長 当然、学校から申請があり、支援員配置の要望も受けてこちらで配置する形。

参加者 情報が入った場合は配置すると。

参加者 私は、こちらの小学校を卒業。盛岡の割と大きな小学校から親の都合で転校してきた経緯がある。大規模には大規模の、小規模には少ないからこそその良さがそれぞれある。学習面でなく性格的な話だが、例えば、活発な子もおとなしい子もいる。そういう一人ひとりのタイプを先生方が判断し育ててくれた。少ない人数だからこそ、親も知らない色々な子供の面を先生が気づいてくれたが、大規模になった時に、そのような面を発見してもらえるかどうか。35人がきちんと見られる人数と言うことだが、一緒になって育ってきた環境とかも配慮して先生方は見てくれるのかな、と思った。

学教課長 小規模校のメリット、デメリットは、当然ある。今、学校は多くても20人前後だが、それでも目が行き届かない場合がある。そうした中でも、これからの学校経営は、先生方がそれぞれ個々の児童を生かす指導が求められる。これは、当然やらなければならない部分。ただし、将来は自分が自立して社会に出る部分を考えて、ある程度、小さいうちから集団の中で習得できるものを習得した方が、将来的には自分のものになるのではと。ただ、個性を見つけられる先生がいるか。それは、担任だけでなく他の先生も全体を見ながら教育していかななくてはならない。小規模校で1対1だとその子について詳しく分かるが、それだけでなく集団での生活で得られるものは、将来的にその子供にとってよりよい環境かなと捉えている。

参加者 一番懸念しているのは統合してから元気がないとか、学校に行きたくないとなるのが不安。中学校や高校の不登校は仕方ないと思うが、小学校からそうなりと厳しい。万が一だが、そういうこともあるかと思ったので伺う。

学教課長 現在、小学校の不登校は町内で1名。やはり、中学校に行くと増える傾向はある。小学校が統合したから不登校が増えることのないようやっていかなければならない。

教育長 児童数 809 名で不登校児童 1 名は、すごく少ない。他市町村に比べていい状態。統合してそういう子供が増えないよう先生方にはきちんと指導して欲しい。

参加者 統合することのメリットとデメリットを挙げれば、参考にするとのことだが、私達は、みんなこの学校出身でメリットが多いが、大きい学校が良かったとかあっちに行きたいとか思った人はいない。橋場小だから良かったと思っている人がほとんど。大きくなった時のメリットを説明しているが、矛盾している。一緒だと競争力が伸びるとか、何の行事にも出られるとかは分かるが、多いと手が届かないとかケアできない等の説明はしていない。

学教課長 小規模と大規模のメリット、デメリットは、はっきり反対。例えば、小規模であれば児童一人ひとりに目が行き届く。大規模は目が行き届かない。小規模のメリットは大規模のデメリットであり、大規模のメリットは小規模のデメリットである。大規模のメリットとして、学習面は集団の中での多くの人達の多様な考えに触れることができる。そこで認め合い、協力し合い、切磋琢磨して自分が育っていける部分がある。デメリットは、今の反対。多様な考え方に触れる機会は少ない。

参加者 私達は、そう思っていない。小さいから地域に支えられていて、じいさんばあさんの話も聞く。小学校の中だけでやっているわけではなく、外に行って色々活動もする。

学教課長 例えば、学習する中でグループ化をして、そこの代表で話し合わせて、そこから意見を出して、それを聞く子供達が整理する力をつける面はあると思う。

参加者 それは、複式では人数が少なくてできないと。

学教課長 できないのではなくて、3 人だとしたら 3 人の考え。こちらは 10 人いれば 10 人の考え。世の中に出ていけばもっと多くなる。

参加者 そうは思っていない。橋場出身の人は、中学校で生徒会やクラス委員とか色々やる。大村とか他の小規模校の子も中学校で人の先に立って引っ張る人が多い。それは、人数が少ないから 6 年生が 1 年生までを見て、みんなの意見を聞いてやっている。これは、集団行動ではないのか。できているが。

学教課長 縦もできるのがメリット。そういったメリットは、もちろんある。

参加者 それが、大きい学校と比べた時のメリットというのが理解できていないのではないか。集団行動にも慣れている。何かを発表すると言ったときも発表している。

学教課長 それは、小規模校でするので人数が少ないから発表する機会が多くなる。

参加者 それを聞いて意見を出してというのを全部自分でやらなければいけないので、他の学校で埋もれている人達よりできると思う。

学教課長 それもメリットです。

参加者 私もここで当時の校長先生に見出されて児童会長をやった。それがなければ多分中学校で埋もれていた。それが、100 人ぐらいの規模の学校で出来たかと思えば

出来なかったと思う。それまで自分は人前へ出る人間ではなかった。だからこの小学校にはすごい思い入れがあって、そこで変わった思いもあるし、小さい学校で十分な思いもあって反対する。正直、メリットデメリットも分からない。確かに集団でやるスポーツはできないかもしれないが、今は、学校を超えてスポ少も出来るし、そちらで団体競技等をやって来る人達がいっぱいいるので十分かと思うが。

学教課長 ただ、体育の授業は1〜2人ではできない。例えば、クラブとかは個人の子供が選んでやれるが、体育の授業だと限られた活動になり幅が狭まる部分もある。

参加者 学区民としての意見。私は、橋場小と御明神小合同で松島に修学旅行へ行ったことがある。数えられる人数だったが、人数が多いと競い合えるし、相手の立場で色々勉強できたり集団的なメリットはあるが、競ったりスポーツしたりは中学校でも十分競い合って睨み合える気がする。橋場小の橋っ子もちっこそばっこ祭りも10数年の期間を経て、地域のおじいさんおばあさん達と児童と職員と一緒にあって築き上げた一大イベント。子供が種を蒔き、収穫して自分の口に入れ、出来たものをご馳走になる収穫祭を17年間地域の人達とやってきた学習は、本当に大事なこと。大村小にすれば山祇神社の神楽の継承、南畑小は高藤堰による堰賛太鼓。地域の人達と一緒にあって、数年では出来ないものを色々積み上げ構築してここまで来た。それを人数が少ないから統廃合する話の中で、やるべきでないと薄々気づいておられるかと。世間的には少子高齢化。老人が他と比べて橋場地区は多い。介護施設ではなく、小学校は少子と高齢で融合するような、まだ元気で足腰の丈夫なおじいちゃんおばあちゃんが、お祭り以外に子供達と交流する場所。孫がいなくても学校で孫と一緒に交流できる。昔話、お土産話、高齢者は地域の先輩だからこそ、まだ11歳未満の子供達には、本当に刺激になっていいと思う。今の日本の教育も含め、新しい教育はある意味、そこを求められているのかもしれない。ただの複式解消の統合は果たしていいかという部分も含め、或いは校舎の跡地利用含め、まだできる可能なことを地域の人達と一緒にゆったりした気持ちで考えることが大切かと。

教育長 今までのものは、統合したからやめるのではなく、そこは統合しても是非続けて欲しい。四六時中、朝から晩まで地域の人と一緒にではなく、橋っ子もちっこそばっこ祭りも、そばの種まき、刈り取り、脱穀等地域と一緒に計画を立て、やっていただいてはどうか。それをやりながらスポーツや合唱など人数がいないと出来ないことを自然に学校で出来ていく。人数の少ないところのよさを是非、土日、或いは放課後に企画していきたい。今までの活動を否定するものではない。

参加者 学区民だと学校がなくなると寂しく感じるが、例えば、統合前に子供に、学校と一緒にするのは嫌だ、ここの学校がいいと最初から拒否されたら何と説明すればいいか。通うのは子供。子供がきちんと納得できる形でないと。うちは女の子1

人で他は男の子で、学校にも女の子 2 人だけで人数が増えれば女の子の友達も出来るとも思ったが、ここは 1 年から 6 年生まで一緒に、喧嘩して今日は嫌いだけど明日は好きとか、他とは違うことも思う。兄弟の様な愛情が通っている。だから、長い距離でも吹雪の中も一度も嫌と言ったことがない。学校が好きだから。勉強も出来ないところもあるが、1 年生から授業以外の委員会活動等も人数が少ないから参加し、最初は訳が分からなくて困っていたが、低学年で校内活動をしているところはない。それでどんどん自信を持って 3 年生だからやらなきゃとか、精神的にも大きくなった。先生方が目も手もかけて工夫をしてくださり、体育に関しても体育の時間が 1 週間のうち 2 回も 3 回もあって合同体育は 2 回。1~2 年生一緒に跳び箱の発表がこないだもあって、個人的な競技に関して言えば、何度も何度も同じ練習をするから、高学年になると少ない人数でこんなにいい結果を出せるかと思うぐらい成長している。だから、少ない児童の小学校でも学ぶことは十分学べていると思うし、一番いいのはやはり子供が早い時から何でもできること。

学教課長 例えば、統合する前に何回か交流を持つ。

参加者 社会科の地域学習など御明神小と 2 回ほど行き、楽しいと帰ってくるが、行けば慣れるかもしれないが、今までのいい部分とか橋場が良かったと比べないで済む説明を子供にしたい。通うのは子供なので。子供が嫌となれば通えない。

学教課長 前に 2 回ほど交流をしたということで、回数をできれば増やす形で段々に。

参加者 それをずっと続けて中学校に上がるのは駄目か。交流はすごくいいと思うが。

教育長 特別な時間割を組まないといけない。人数がそろえば特別な時間割を組まなくても経験できる。合同体育も高学年は低学年を思いやってボールを投げるとか、思いやりの心は育つが、同学年で全力を出す機会は少ないかなと。

参加者 いずれは、追いつかないか。中学校に上がれば同学年の生徒がいっぱいいるし。

教育長 皆さん、大丈夫ですよという話。でも、一緒になれば今まで以上のものがもしかしたら出せるかもしれないと思うのだが。

参加者 嫌と言われながら通わせないといけないのか。今の時点の心配はそこ。

教育長 そうはしたくない。

参加者 学校がなくなったことで、その場所にいる必要がないと引っ越す人がいる可能性は、考えたか。

教育長 それは、考えていなかったが、逆に引っ越し先の学校が複式だったので住むのを止めた話は聞いたことがある。

参加者 小学校の現時点でのイメージがある。中学校だとよく分かるが、積極的な子が多い小学校、控え目な子が多い小学校とか、中学校に入ると積極的な人達が幅を利かせ始める。ということは、小学校の時からそういう人達だった。どこの世代から話を聞いても、ある小学校は、色々やらかしたりするところがある。そこと

一緒になるくらいだったら、引っ越して他の小学校へ行った方がいい。そう考える親もいなくはない。過去に中学校で警察沙汰になったことがある。その年代だけではなく前後もひどかった。だから、地元小学校があつて自分もそこを卒業したから母校に通わせたいと思う人でも、小学校がなくなるならいいや自分の家でもないしどこか行こうというのも可能性はある。私は、この小学校がなければどこでもいい。子供が小学校に入るとなったら橋場に入れて通わせたいと思う。

学教課長 同じ考えの方は居られますか。もし、無くなれば他に行くという方。

参加者 私は、盛岡に住んでいたが、子供達を橋場小に入れたくて帰ってきた。

学教課長 逆にこっちに引っ越してきましたか。

参加者 橋場小が無くなるならいる必要はない。そこは計画を立てている。

学教課長 今も同じ考えですか。

参加者 そうです。1学年何百人という小学校で心配だった。上の子は、その学校に居たが、結局卒業して中学校へ行くので大丈夫かなと。今は何も問題もなく心配ない。最初、全然泳げなかったのが泳げるようになった。仲間もいっぱいできて。

参加者 また話が戻るが、計画の表現とか説明だけでは親達が納得できる理由ではないので、子供にも説明はできないし、もう少し親身になったような状態で。

学教課長 こちらは、親身になって考えている。

参加者 人数が多いと競争できる、みんな伸びるだろうという事実、それだけなのかと。

参加者 学力で見られるという指摘、それでは納得がいかない。町議会議員さんが小規模校は協調性がないとか、学力が下がっていると言って、それではここにいる皆さんも納得できないのでは。小規模校でのデメリットを言われてもみんなが経験して分かっていることで、それをメリットと感じていれば納得できない。そういう理由でなくもっと広い理由があるとして、例えば、町にお金がないとかだと納得するかもしれないが、心に入っていないとか何を言われてもそれは違うなと感じる。説明会を何度やっても考えが変わらなければ、こちらは重々承知なことを言われているだけ。もっと実のある話し合いが時間も無駄にならずいいかと。

参加者 橋場小の行事以外にこの会議をするに当たって平日に小学校を見に来たか。

学教課長 平日の授業参観等々やっているのですその時に。

参加者 どう思いましたか。

学教課長 先生方が一生懸命頑張っているなど。子供達も生き生きしているなど。

参加者 他の学校にもそれはあるか。

学教課長 ある。

参加者 人数が少ないから一人で何回も喋る。よくやっているなと思って。

参加者 その時に橋場小は駄目だと思ったか。

学教課長 駄目ではない。先生が片方についていれば、一人で黙って座っている子もいた。何かを与えられて考えているかと思うが、黙って一人で座っている姿を見ると、

授業の中で先生とつながる部分がもっと多い方がいいかとは思った。

参加者 大きい学校でみんながみんな集中してやっているかと言えばそうではないはず。

学教課長 要するに 2 学年を一緒にやるので。自分の時は聞きます。単式であれば子供達から見れば、先生の言っていることは全て自分達に向けられる。

参加者 その時間は、うちの子にとっては自分で学習する力となった。今高校生だが、学習する力をここでつけてもらったのかなと思う。

学教課長 小人数は、学習習慣のメリットもある。自分で考えて学習すると。ただ、何もしないで座っていた子供を見たことがあったので。

参加者 それは、多分どこに行ってもいる。その子の個性なのだろうし。

学教課長 素晴らしい個性を持ったお子さんだと思います。

参加者 そんなことはない。親も駄目だし。先生方のおかげだと。

参加者 色々聞いた結果、複式学級が良くないとかデメリットがわからない。私達は、複式学級で良かったと思って、複式学級だから、人数が少ないからできたこと、という経験で今まで生きて来ている。人数が多いのは中学校に入ってからでいいのでは。人数が少ないところから大きいところへ行くと協調性がない、そんなことはない。周りに溶け込めないとか人の意見が聞けないとかも一切ない。縦横のつながりでやってきた分、人の言うことをしっかり聞かないと動けない。人数が少ない分、自分でやらなければならない。陸上、水泳、私達の時ミニバスもクロカンもあって。みんながそれをやらなければならなかった。だから、走ることも泳ぐこともスキーもバスケットも何だってやれるようになった。人数が少ないからそれぞれ役割の中、前で発表しなければならない。そういう度胸もついたのはここだから。最初から多いところへ行けば、やりたくないとか誰かに任せられると思い、絶対陰に隠れる子がいる。中学校へ行くとよく分かる。雫石小や御明神小からの子は人前に出るのはごく一部で、その他の子はほぼ埋もれる。小規模校とか複式学級とかデメリットも正直よくわからない。何十年と複式でやって来たのに、なぜ今さら統合なのか。確かに今の PTA の父兄を見ると大変だなと思うが、ここには大きい学校にはない良さがある。それでずっと育ってきた人達が子供を育ててという連鎖で来たものを壊されるような気がして。実際統合してみないと分からないが、果たしてこの小学校が無くなって地域の人達が今まで橋場小を支えた様に協力してくれかと。この小学校がないからいいやと思う人達は絶対にいる。名前もどうなるか分からないが、御明神小の校舎を使う時点で、そっちは関係ないという人が絶対にいる。そこをもう少し考えて欲しい。

学教課長 小規模が駄目とは全然言っていない。それなりの良さがある。ここを卒業された方は、自分に自信を持っている。だからそう言えるが、こちらで全体的に考えて、客観的な部分で申しているところ。実際、今日意見を出してもらい、こちらで更に検討していかなければならない。決して小規模が駄目とは一切言っていない

い。

参加者 先程、途中まで話していたが、統合した時のメリットを違う形で。

学教課長 集団の中での生活ができる。社会性が培われる部分は言った。当然、運動会や行事、音楽活動も団体で一つのもので作り上げる集団での達成感がやはり出てくるかと。そうするとそれが個人の達成感にもつながって。

参加者 集団での達成感は、人数が少ない分全校でやるのでそれがないとは言えない。他の学校は学年ごとのものが、私達は全校なのでそれも出来ていると思う。デメリットとして話されたことが、もうそれはできていてメリットしかないのでは思う。

学教課長 学年に差があるとレベルが違う。6年生と1年生が一つのことをして。

参加者 それはスポーツか。

学教課長 色々な学校の行事なりです。

参加者 全校なので高学年にとって低学年が足手まといという状況にはなっていない。

学教課長 そういうものをやっていない、やれないから。

参加者 そういう機会に全校劇とかをやる。もう少し何か理由はないか。結局、人が多くいて競争させて伸ばしていく。それしか理由として残らない。もう少し何か。

学教課長 自分達がやって来て素晴らしいという方々だと思う。ただ、こちらとしては、集団的な部分だとクラスで何グループか作り、それぞれ話し合い考えをまとめ、更にグループ同士で出したものを考える。グループ活動の良さも大規模校にはある。

参加者 授業は全部グループ活動か。

学教課長 全部ではない。でも、ある程度の集団であればそういう活動ができる。

参加者 それは間違いないが、それだけで統合するかという感じがする。これからどちらかに必ず進むでしょうから。こちらでも意見は何回も求めてもらえると思うので、自分達の子供のことなので、良いようにしてもらえるよう、その都度話を出さなければならない。その中でいつかは私達が納得しなければならない時が来ると思う。大きい学校がいいと納得というより諦めになる。子供達に仕方ないから我慢しろと言うのは嫌なもので、どうせやるならいい方にいかなくてはならない。この後、要るとか要らないとかの細かい話はこれからで、なぜこうなったかをもう少し何かないか。

学教課長 あとは、ある程度の規模の学校は教員数も増える。そうすると色々な教科の専門の方もいて、それらによって専門的な学習もできる部分もある。それでバランスのとれた教育もできるかと思っている。要するに90人を超えると担任外の先生も配置。さらに増えて学校経営全体が上手くいく部分もある。子供にとっては色々な先生方がいる中で先生を選べる部分が多い。小学校の先生は得意分野、その他分野を全部一人で教える。人数がいれば教科に優れている先生がもしかしたら別

の学習の機会に教えることもできる。体育の得意な先生は全体の指導も運動会の指導も専門的にやれて幅も広くなるし、教員としての幅も広くなる部分もある。

参加者 それは主旨になり得ない。統合する理由の最初に出てくるような理由ではない。

学教課長 メリットの一部にはなる。色々なメリットデメリットがあるので。

参加者 それをきちんと紙に書いた物が欲しい。ここが良い、ここが悪い。

学教課長 メリットとデメリットは反対のもの。そう考えていただきたい。

参加者 話がかみ合わないのはデメリットと話される部分が、私達にとってはメリットとして感じている部分だから。

参加者 もう一度、こういう説明会をするのか。来週とか来月とか。

学教課長 今月全箇所を回り、それを整理して再度声をかけて要望があれば何度でも来たい。

参加者 こちらから要望があればか。

学教課長 もう一回は必ず来る。10校でやるので、ここで出なかったことも色々出てくるので、全体を整理して。12月は議会があるので提示できるのがいつ頃になるか。できれば12月中にやりたいが、もう一回は年を越してからと思う。

参加者 説明会で出た意見をPTAに開示してほしい。出た意見を小学校ごとにまとめて。

学教課長 他でもそういう意見が出たので、整理してHPなりの部分で公開は考えていた。

参加者 それはいつ頃見られるか。終わって1〜2ヶ月後ぐらいには見られるか。

学教課長 できれば12月中に整理し、早めに提示して情報として提供したい。

参加者 情報公開は、PTAだけでなく地域の人にも紙の配付で、HPを見れない人達にもしっかり分かるよう、大村小で出た意見とか、上長山小で出た意見とか、橋場の行政区でも読むのでお願いしたい。広報に収まるのであれば広報でも。

学教課長 見られない方もいるかと思って。説明会の日程を広報に載せたが見ていない方が説明会に行けなかったということがあり、周知方法が悪かったと反省している。

5. 閉会宣言

教育長 ご意見いただきありがとうございました。こちらの説明不足で納得いかないところが多々あったと思うが、今の子供達が悪い方向にいくのではなく、良い方向にいく形でまとめたい。児童にとってよりよい教育環境を考え、この度の適正配置基本計画を立てた。納得されない部分があるかと思うので同じように来て説明し、ご理解いただいて雫石町の子供達を育てたい。何とかよろしく願いたい。